がん研究会　情報公開文書

単施設研究用

IRB番号「2023-GB-105」

研究課題名「肝門部悪性胆管狭窄に対するplastic stentの胆管内留置（iPS）における有用性とuncovered self-expandable metallic stent(uSEMS)との比較検討」

１．研究の対象

対象は2017年7月から2022年10月までに当院で非切除肝門部悪性胆管狭窄に対して、初回にiPS法もしくはuSEMSを留置した方。

２．研究の目的・方法

肝門部悪性胆管狭窄に対するステント治療戦略は、Inside Stent法が主流になってきていますが、ステントの種類はプラスチックステントとUncovered Metallic Stent（UMS）に分けられ、どちらを選択するべきかエビデンスの蓄積は十分ではないです。UMSの方が長い開存期間が期待されるが、手技が煩雑であり、閉塞した場合のreintervention(内視鏡的治療再介入)に難渋することが多いです。今回、reinterventionに関する点にも着目し、プラスチックステントの有用性と安全性を評価します。

３．研究期間

承認日　～　2024年12月31日

４．研究に用いる試料・情報の種類

病歴、検査所見、画像所見、内視鏡所見、臨床経過、治療経過など

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人　がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者　肝胆膵内科　部長　笹平 直樹
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表)　FAX番号03-3520-0141

研究責任者：

公益財団法人　がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者　肝胆膵内科　部長　笹平 直樹
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表)　FAX番号03-3520-0141